

5年 単元名「めざせ！南郷エコロジスト」 (30時間)

1 単元設定の理由

本校は、日南海岸国定公園の一部を校区に有し、加えて「かつお一本釣り」漁船の母校となる2つの港を抱える、文字どおり「港の町」にある学校である。そのような中で学ぶ児童にとって、「海」に関する学習を行う意義は、次の3点からたいへん大きいと考える。

「海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する」学習をとおして、本校の教育目標である「豊かな心と自ら学び考える力を持ち、たくましく生きる児童の育成」の具現化を図ることができる。

学習をとおして、ふるさとの海をはじめとする自然環境の素晴らしさに気づき、それらを守り、発展させていこうとする気概をもたせ、将来の日南市を担う人材を育てることができる。

活動をとおして、「海」に関わるさまざまな地域の人材に触れることができ、自らの生き方について考える機会となる。

2 単元目標

海に関する課題を追究する活動をとおして、海を中心とした自然環境に対する関心を高め、課題解決に主体的に関わる能力を高める。

美しいふるさとの海を守るためにできることを調べたり、まとめたりする活動をとおして、人のかかわり方、情報の集め方やまとめ方などの表現力を育てる。

ふるさとの海を守る活動について、調べたことをもとに自ら実践できることに取り組むとともに、これからの自分の生き方について考えようとする態度を養う。

海に親しみ、海を知る活動をとおして、海に関する理解を深めるとともに、海とかかわり活用する際に必要な技能を身につける。

3 単元の評価基準

身の回りの自然環境について、そのよさと課題をつかみ、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする。

必要な情報を効果的な方法で収集し、課題に沿って適切にまとめるとともに、まとめたことを効果的な手段で発信することができる。

学習をとおして触れ合った人々から学んだことを、今後の生活や自分の生き方に生かそうとする。

海を取り巻く現状や私たちの生活とのつながり、海の生態系などについて理解できる。

4 単元の指導計画

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
2	1 「海」の存在に気づく。(単元の導入) 地域の自然環境について話し合う。 2 「海」の存在を共有する。 自分たちの生活と「海」との関わりについて考える。	関係機関の協力を得ながら、農業面、漁業面、観光面の関連する写真やデータ等を提示できるようにする。 かつお・まぐろ漁が盛んだったころの様子を見聞させる。
4	2 「海」の現状を理解する。 南郷漁協の人から話を聞く。 漁師の人から話を聞く。	南郷漁協に水揚げされる魚種や漁獲高、「かつお一本釣り」漁、漁業を取り巻く現状などを聞き、関わる「海」への思いに触れられるようにする。
2	3 「南郷の海」の様子を知る。 ダイビングインストラクターをしている方から話を聞く。 ・海の神秘 ・海の環境の現状	児童が南郷の海の現状について課題意識をもち、解決への見通しがもてるように、講師との事前打ち合わせを十分行うようにする。
3	4 今後の学習計画を立てる。 ・南郷の海の現状 ・海を守る取組 ・海と私たちの生活とのつながり ・海を調べる活動	これまでの活動をとおして児童自身が初めて知ったことや感じた疑問などを整理し、児童個々の気づきや思いを大切にしながら、主体的に学習計画づくりに参加できるように配慮する。
4	5 「海」を取り巻く問題について調べる。 ・海を守る活動 ・海の生態系 ・南郷の海の現状 ・漁業の今 ・観光面から「南郷の海」を考える取組	個人調べとグループ活動を併用しながら、個々の疑問が解決できるよう支援していく。 調べる方法を適宜助言し、必要な資料等について可能な限り事前に収集しておくようにする。
3	6 シュノーケリング体験をする。 インストラクターの指導を受ける。 ・安全に留意する点 ・用具の装着法 ・呼吸の仕方 ・フィンの使い方 ・緊急の場合の対処法(救助法) ・着衣泳	シュノーケリングの効用を十分に体感させ、水泳が苦手な児童も安全に楽しく体験できるよう配慮する。
5	7 「南郷の海」を体験する。 シュノーケリング体験 ・ 渡船で弧島に渡り、実際の南郷の海を体験する。 ・ 水中の様子を観察しデジタルカメラで記録する。 ・ 魚やサンゴ等の水中生物を調べる。	インストラクターの指導の下、安全監視ボランティアの協力を得ながら、安全に活動できるよう配慮する。 南郷の海中の様子を十分観察できるように、観察の観点を事前に指導しておく。

	<p>磯の生き物観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 潮だまりの水中生物を探す。 ・ 浅瀬の水中生物を箱眼鏡で観察する。 ・ 図鑑を使って調べる。 <p>魚釣り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用具の準備をする。 ・ 釣り方を知り、釣る。 ・ 釣った魚の処理の仕方を知る。 <p>魚料理を試食する。</p>	<p>箱眼鏡等の用具の使い方を含めて安全に活動できるよう留意する。</p> <p>南郷の海中の様子を十分観察できるよう、観察の観点を事前に指導しておく。</p> <p>安全監視及び技術指導のボランティアとして漁協職員及び地域の方に支援いただけるよう事前調整を行う。</p> <p>ある程度の釣果は期待できるよう、事前の情報収集をしっかりと行った上で実施時期を決定する。</p>
3	<p>8 かつおを使った料理を作る。</p> <p>「かつお」や「かつお料理の作り方」についての説明を聞く。(漁協婦人部・市水産林政課担当者)</p> <p>かつおのさばき方を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かつお独特のさばき方 ・ 各部位の名称 ・ かつおの漬けの作り方 <p>かつお料理を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かつおの漬け ・ かつおフライのタルタルソース添え <p>試食する。</p>	<p>事前に観点を伝え、簡潔に説明してもらえよう打ち合わせる。</p> <p>漁協婦人部や水産担当部署の日頃の仕事内容等にも触れていただく。</p> <p>かつおの部位を残さず食材として利用する技にも触れ、担当者の思いにも気づかせる。</p> <p>かつおを使った料理のよさに触れさせる。</p> <p>かつおが食卓に上るまでに関わる人々に思いをいたす。</p>
4	<p>9 学習したことの発表会をする。</p> <p>学習のまとめをする</p> <p>グループごとに発表準備をする。</p> <p>発表会をする。</p>	<p>学習内容や課題解決までの過程がしっかりと伝わるプレゼンテーションの方法を助言していく。</p>